

業種	海運（旅客）
取組分野	自然災害対策（台風）
テーマ	自然災害時における船舶避難場所の確保
取組の狙い	ジェットフォイル（JF）用の避難ポンツーン（浮き栈橋）を定係港外の離島に整備し、災害時に JF を避難させることにより事業継続を図り、島民の交通を確保する。
具体的内容	<p>【設置の経緯】</p> <p>平成 3 年 9 月 14 日、台風 17 号の接近時に JF を避難先の台船に係留した際に台船と JF との間に設置した空気式防舷材が破裂し、JF と台船が断続的に接触して JF が損傷したため、平成 4 年に壱岐島に自社出資により浮き栈橋を建造・設置した。</p> <p>【設置位置】</p> <p>浮き栈橋は、壱岐島の港の中にあり、周囲を山に囲まれ、南西の風以外はほとんど影響を受けることのない被災しにくい場所に設置されている。また、浮き栈橋は、通常の運航に使用している岸壁（郷ノ浦港）と隣接しており、郷ノ浦港から 10 分程で航行できるため、早期に運航が再開できる。</p> <p>【設置後の状況】</p> <p>設置以後、令和 2 年まで台風が直撃しても、JF には被害が無く、特に危険な状態に陥ったことはない。なお、直近では、令和 2 年台風 9 号・10 号の際に活用された。</p> <p>現在、浮き栈橋は、長崎県に寄贈し同県の管理となっているが、引き続き、自社 JF 専用の避難場所となっている。</p> <p>【浮き栈橋写真】</p> 

航路図



取組の効果

- 平成4年に避難用の浮き栈橋を設置以降、令和2年まで、多くの台風が直撃若しくは接近したが、JFを浮き栈橋に避難させることにより、被害が生じていない。
- 浮き栈橋は、定係港である郷ノ浦港から10分程度の距離にあるため、台風通過後に安全を確認の上、早期に航路を再開させることが可能となっている。

事業者名

九州郵船株式会社・福岡市博多区神屋町1番27号
(連絡先：海務部海務課 電話：092-281-0897)